CUSTOM

携帯型熱中症・風邪チェッカー

HV-600

取扱説明書

この度は弊社の携帯型熱中症・風邪チェッカーをお求めいただきまして誠に有り難うございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
なお、お読みいただきました後も、この取扱説明書を大切に保存されることをおすすめします。

◯安全にご使用いただくために

本製品をご使用になる前に安全上の注意と取扱説明書をよくお読みください。

⚠警告	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
⚠注意	人が傷害または財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

⚠警告

損傷や火災事故防止のため、電子レンジなど、マイクロ波加熱炉には絶対に入れないでください。

⚠警告

電池は、幼児の手の届かない場所で交換、保管してください。万が一、飲み込んだ場合には直ちに医師に相談してください。
また、使用済の電池は直ちに破棄してください。電池を加熱すると破裂する恐れがありますので、絶対に火の中へ入れないでください。

⚠注意

直射日光のあたる場所でのご使用、夏期の車内での放置はやめてください。極端な温度変化のある環境でのご使用は、結露の原因になりますので、注意してください。

ストラップの使用について

⚠警告

ストラップ部分を持って本器を振り回したり、強く引っ張ったりすると、紐が切れ、けがをする原因となりますのでおやめ下さい。

防水について

⚠注意

本体は防水構造ではありません。濡れた手で触ったりしますとセンサー口等から液体が入り込み製品の故障につながります。また、カバンやベビーカーにぶら下げた際も雨などが当たらない様、十分にご注意ください。

メンテナンス

⚠注意

本器を分解することは、絶対にやめてください。電池の交換のとき、濡れた手で本体内部をさわらないでください。汚れがひどい時は薄い中性洗剤溶液を浸し、固く絞った布で拭いてください。アルコールやシンナ、ベンジンなどの揮発性溶液は表面仕上げを痛めますので絶対に使用しないでください。

備　考

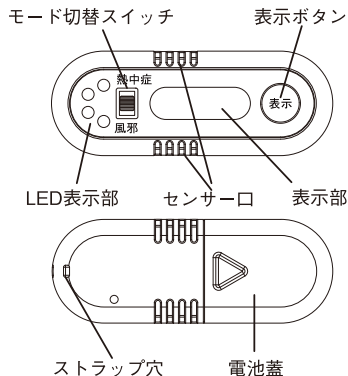
冬期間の室外での使用は、本体の温度低下により応答速度が遅くなることがあります。
暖房器具などの周辺でのご使用は、本体のプラスチック部の変形・故障の原因になったり、電池の消耗が常温での使用に比べて早くなります。

1 ご使用いただく前に

この製品は温度、湿度の関係から熱中症と風邪の警戒度を算出しておりますが、熱中症や風邪のかかりやすさはご使用者の基礎体力やその日の体調によって影響を受けます。表示や警告はあくまでも目安としてご確認いただき、体調管理は各ご使用者自身で行ってください。

2 特長

携帯に便利な小型ボディの熱中症・風邪チェッカーです。
温度と湿度の関係から熱中症や風邪の警戒度を計算し、LEDで表示します。
警戒度が高くなると、ブザーでお知らせします。
ブザーを鳴らしたくない時の為の待機モードもあり、静かな場所での使用も安心です。

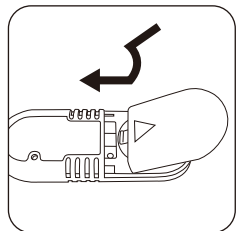
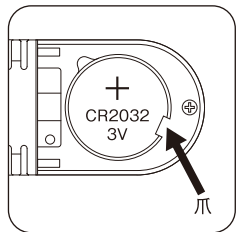
3 各部の名称

4 電池の取りつけ

ご使用になる前に次の手順で電池を取り付けてください。また、電池が消耗すると正しく操作や表示ができなくなりますので、下記手順に従い電池を交換してください。

(1)本体裏の電池蓋をスライドさせて外してください。

(2)付属のボタン乾電池(CR-2032)を極性を正しく(+極側を上にして)装填してください。

(3)電池蓋を元に戻してください。

※電池取り付けの際、電池端子バネに無理な力が加わらない様にご注意ください。

はじめに電池蓋を斜めに差し込み、左の矢印の様に蓋をしてください。

ヒント

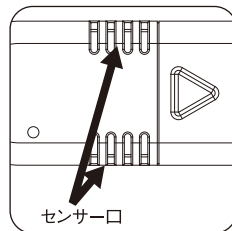
電池は爪の下にしっかりと挿入してください。
電池を爪の上から押し込むと破損や接触不良の原因となります。

5 使い方

(1)はじめに

ストラップ穴に紐を通します。

首から下げたり、カバンやベビーカーに取り付けたりしてご使用ください。

※ストラップ部分を持って本器を振り回したり、強く引っ張ったりすると、紐が切れ、けがをする原因となりますのでおやめ下さい。

本体の横にある穴(センサー口)から外気を取り込み、温度と湿度を検知しますので通気の良い所でご使用ください。
手で握ったり、密閉された場所にしまったりすると正しい温度、湿度を測定できませんのでご注意ください。

(2)測定モードについて

スイッチをスライドさせて測定モードを切替えます。

上 ➡ 熱中症モード
下 ➡ 風邪モード

ご使用になる季節に合わせてスイッチを切り替え、ご使用ください。(両方のモードは同時には測定できません)

保　証　書

株式会社 カスタム

保　証　規　定

本器は当社基準に基づく検査により合格したもので、下記の保証規定により保証いたします。

1. 保証期間中に正常な使用状態で、万一故障等が生じました場合は無償で修理いたします。
2. 本保証書は、日本国内でのみ有効です。
3. 下記事項に該当する場合は、無償修理の対象から除外いたします。
   a 不適当な取扱い、使用による故障
   b 設計仕様条件等を越えた取扱い、または保管による故障
   c 当社もしくは当社が委嘱した者以外の改造または修理に起因する故障
   d その他当社の責任とみなされない故障

型　番	HV-600	シリアルNO.	
保証期間	年　月　日 より6ヶ月		
お客様	お名前　　様 ご住所 電話番号		
販売店	住所・店名		

販売店様へ　お手数でも必ずご記入の上お客様へお渡しください。

株式会社 **カスタム**
〒101-0021東京都千代田区外神田3-6-12
TEL (03)3255-1117 FAX (03)3255-1137
http://www.kk-custom.co.jp/

120802

(3)温湿度表示とLED、ブザーについて

各LEDは左記の警戒レベルを表します。

各警戒レベルでの温湿度の監視と表示、ブザーは以下の様になっています。

警戒レベル	表示	表示モード時	モニタリングモード時	待機モード時
注意	LED	緑点灯	緑点滅	消灯
	ブザー	鳴りません	鳴りません	鳴りません
警戒	LED	黄色点灯	黄色点滅	消灯
	ブザー	鳴りません	鳴りません	鳴りません
厳重警戒	LED	オレンジ点灯	オレンジ点滅	消灯
	ブザー	ピッ、ピッ、ピッ…と鳴ります	ピッ、ピッ、ピッ…と鳴ります	鳴りません
危険	LED	赤点灯	赤点灯	消灯
	ブザー	ピーッ…と鳴ります	ピーッ…と鳴ります	鳴りません
温湿度	監視	します	します	しません
	表示	点灯	消灯	消灯

(4)モードの切り替えについて

この製品には3通りのモードがあり、表示ボタンを押してモードを切替えます。

電池を挿入すると、初めに「表示モード」となり、LCD、LEDが表示、点灯します。そのまま、10秒間ボタン操作を行わないと、自動的に「モニタリングモード」に移行します。
普段は「モニタリングモード」になっており、表示ボタンを押すと「表示モード」になり、表示ボタンを長押しすると「待機モード」になります。

ご使用の際は、モニタリングモードにして環境のチェックができるようにしてください。
ご使用にならない時は、表示ボタンを長押しして、待機モードに設定しておく事をおすすめします。(ベビーカー等に取り付けた状態で、ベビーカーを玄関先等に保管されている時、不意に警告ブザーが鳴ってしまい、周囲に迷惑になってしまったりする事を防ぎます)
再度お使いになる時は、表示ボタンをワンプッシュするだけでモニタリングモードになり、警告機能を再開しますので、非常に簡単・便利です。

ヒント

待機モード時は温湿度監視を停止し、警告ブザーも鳴りません。映画館やコンサート会場など音が鳴っては困る時にご使用ください。

(5)警告機能について

この製品は、温度と湿度の関係から熱中症や風邪の警戒度を計算し、LEDやブザーでお知らせします。
ブザーは約10秒間鳴った後、自動的に止まりますが、その前にブザーを止めるには、"表示"ボタンを押してください。ブザーを止めて1分後、依然「厳重警戒」と「危険」レベルにある時は再びブザーが鳴ります。
完全にブザーを止めたい場合は一旦ブザーを止めた後に更に"表示"ボタンを3秒以上押し続けて、待機モードにして下さい。

ヒント　異常な表示が出た時は

電池蓋内部のリセットボタンを爪楊枝などで押してください。
それでも表示が異常な時は電池の消耗が考えられますので電池を交換してください。

ヒント

長期間ご使用にならない時は電池を取り出して保管してください。

6 仕様

項目	内容
測定範囲	温度:0〜+50℃ 湿度:20〜90%RH (上記下限値以下の場合:"Lo" 上限値以上の場合:"Hi")
分解能	温度:0.1℃ 湿度:1%RH
測定精度	温度:±1.5℃(0〜+40℃)、±2℃(左記以外) 湿度:±10%RH
使用温湿度	0〜+40℃、80%RH以下(但し、結露のないこと)
保存温湿度	−10〜+60℃、80%RH以下(但し結露のないこと)
電源	ボタン型電池(CR-2032)　1個
電池寿命	1日あたり約6時間使用した場合…約6ヶ月 (連続使用時…約1000時間)　(上記電池寿命は、ご使用の環境や、表示確認の頻度によって異なります)
寸法・重量	L70×W26×D12mm、約20g
付属品	ネックストラップ、ボタン型電池(CR-2032) 取扱説明書

※付属の電池は試供品です。
上記の電池寿命以下で電池が切れることがありますのでご了承ください。

7 熱中症の警戒度算出方法について

熱中症はスポーツ活動ばかりではなく日常生活や職場でも発生します。
通常、熱中症は黒球を使った湿球黒球温度(WBGT)を温度基準に採用し、その温度レベルによって「危険」(31℃以上)、「厳重警戒」(28〜31℃)、「警戒」(25〜28℃)、「注意」(25℃未満)の4段階に分けられています。
本製品は、温度と湿度の関係から、熱中症の警戒度を簡易的に内部で計算し、LEDとブザーによって熱中症の警戒度を表示しています。

温度基準(WBGT)	注意すべき生活活動の目安	注意事項
危険(31℃以上)	すべての生活活動でおこる危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が大きい。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
厳重警戒(28℃〜31℃)		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。
警戒(25℃〜28℃)	中等度以上の生活活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に充分に休息を取り入れる。
注意(25℃未満)	強い生活活動でおこる危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。

8 風邪の警戒度算出方法について

インフルエンザウィルスの生存は、空気中に含まれる水蒸気量(絶対湿度)と関係がある事が分かっております。
本製品は温度と湿度(相対湿度)の関係から絶対湿度を計算し、絶対湿度とインフルエンザウィルスの生存率の関係から、風邪のかかりやすさを4段階で分かりやすく教えてくれます。
※警戒度の表示はあくまでも目安です。

本体表示	絶対湿度	空気の乾燥状態とインフルエンザの流行	ウィルス生存率
赤(危険)	7g/㎥以下	空気が特に乾燥してインフルエンザが流行しやすい状態	20%
オレンジ(厳重警戒)	7〜11g/㎥	空気が乾燥してきてインフルエンザが流行してよい状況	5〜20%
黄(警戒)	11〜17g/㎥	空気が湿っていてインフルエンザの流行はしにくい状況	0〜5%
緑(ほぼ安全)	17g/㎥以上	空気が大変湿っていてインフルエンザの流行は非常にしにくい状態	ほぼ0%